



index

徹底解剖プラス
村上さん

特集
新入社員入社前研修

展示会レポート
Withコロナ展示会

パロ電機訪問記
働き方改革始めました!

ぶちTDニュース
掲載情報

Good&New

志村さん
高橋さん

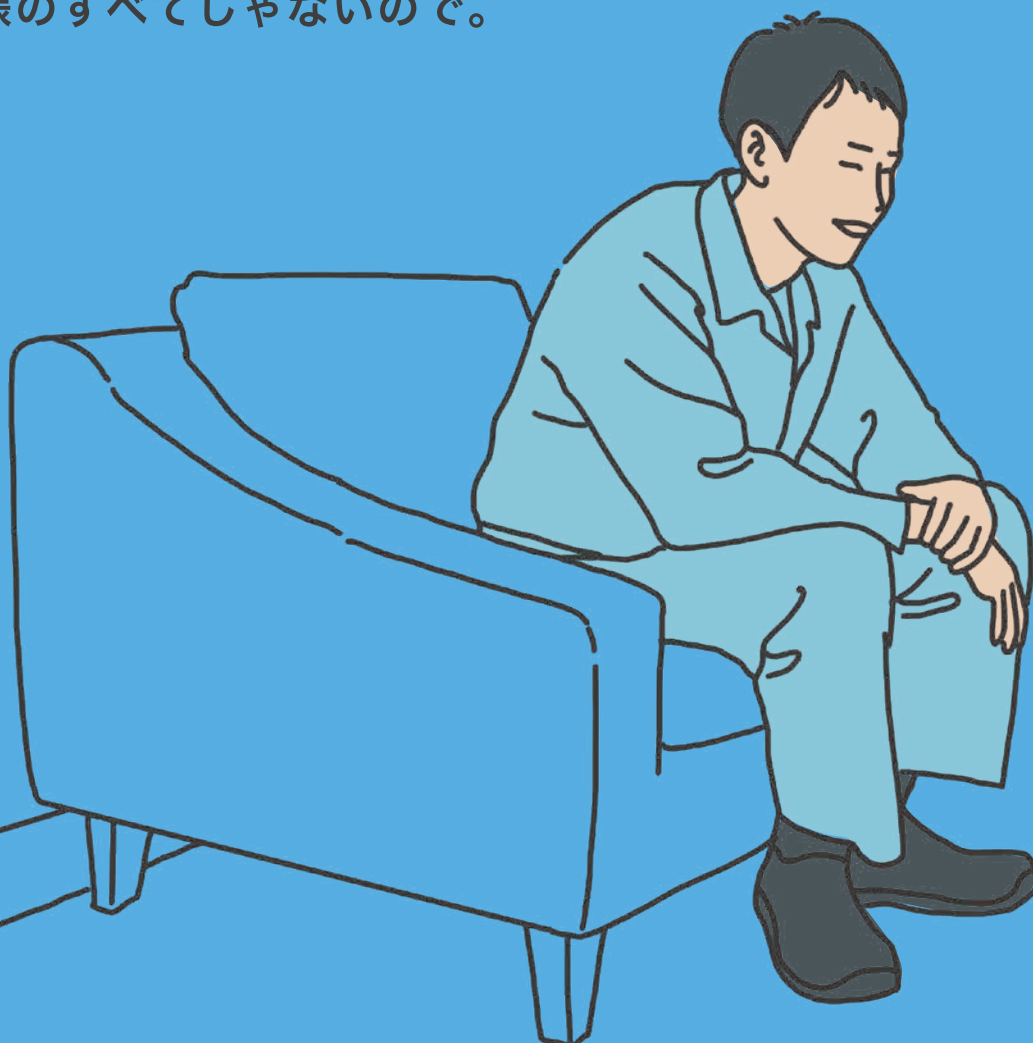
やわらかコラム
地頭がiiiって?

おたよりについて

徹底解剖

村上さん

図面に載ってることだけが、
お客様のすべてじゃないので。



エンジニアの想いを
聴かせてほしい

11



徹底解剖プラス

制御盤事業 検査チーム

村上さん

TDグループを支えるエンジニアたちの秘めた想いを聴かせてほしい。
検査チームの仕事のこと、自分のこと、仲間たちのこと、
制御盤事業 検査チームの村上さんに聞きました。



どんな仕事をしていますか？

制御盤の検査の仕事をしています。出荷前の最後の工程です。きちんと図面、仕様書通りに出来上がっているかを検査します。制御盤の寸法や塗装などの外観や構造の確認、正常に動くかどうかの確認、防水性の確認など、たくさんの品質チェックを行って出荷します。

また、図面や仕様書などで指示されている部分のチェックだけでなく、それらの資料にはないお客様の望んでいるものに適合しているかという点を確認するのも検査の仕事です。本当にお客様はこの動きで良いのか？この設備ならこの動きの方がいいのでは？ということをお客様の立場に立って考え、検査を行っています。



お客様と直接やりとりをすることは多いですか？

立会検査などでお客様と直接接する機会が多いです。お客様はその時初めて発注した制御盤を見ることになるので緊張感のある場面ですね。立会検査は時間が限られているので、お客様が見たいであろうポイントを滞りなく検査できるように気を付けています。また、お客様の疑問にすぐ答えられるように、質問を想定しておくなど、しっかり事前準備をするようにしています。

それでも予想外な質問や指摘に戸惑うことはあります。奥まった部分の塗装など、人の手では不可能な箇所を指摘されると少し



困ってしまいますね。そういう時は、お客様はどうしてその指摘をするのかを確認します。見た目が嫌なのか、サビの心配なのか、お客様によって求めるものが違うので、本当の目的を確認して、落としどころを一緒に探していくことをしています。



Q. | 仕事をしていて楽しいときは？

お客様が本当に求めているものは図面に載っていることだけじゃないので、その見えない要望を想定して、実際にお客様の要望と自分の想定が一緒だった時は楽しいと感じます。図面や仕様書にない、そういったプラスアルファの部分でお客様に喜んでもらえるのが嬉しいですね。

Q. | 仕事の中で難しいことは？

検査の仕事は、やろうと思えばどこまでもできるのでキリがない仕事です。だけど納期もあります。品質と納期どっちを選ぶか、という点で調整が難しいことは多いです。妥協しないといけない場面もありますし、その時は良いと思っても、クレームや不具合が出て、「もっと気を付けていれば」と後になって後悔することもありますね。

Q. | 日々気を付けていること

仕事をするうえで意識しているのは、一緒に働く人たちが働きやすいように動くこと、ですかね。段取りやコミュニケーションに気を付けよう！と思ってやっています。うまくできているかは分からないけど……。

Q. | 東洋電装のどこが好き？

東洋電装の好きなところは、ほかの会社に比べて自由なところですね。工場の仕事は、がんじがらめなイメージですが、東洋電装にはそういうのがないですね。工程きっちり！この時間までにこれをやれ！という仕事の仕方じゃなくて、自分の仕事以外にも忙しい人の作業を手伝うなど、自分で時間の使い方を決められるところが東洋電装の良いところだと思います。

Q. | 検査チームのメンバーについて

検査チームのメンバーは頼りになる人たちです！共通で理解し合える悩みに対して、相談し合えるし、みんな真剣に考えてくれます。正解がないことについても、「こういう理由で自分はこう思う」とそれぞれの考えを伝えてくれるので、本当に頼りになります。



村上さんのプライベート



僕の性格

意外といいかげんな性格です。こだわるところはこだわるけど、それ以外はどうでもいいというタイプ。仕事に関わる部分だと、計画的に何かをするのは好きですが、臨機応変な対応をするのは苦手です。

家族との時間

休日は家族と過ごします。最近は公園にばかり行っていますね。近所の公園とか、少し遠くの公園とかで子供と遊びます。子供が今、3歳と0歳で、もう少し大きくなったら読書などの趣味の時間を作りたいです。平日も子供中心ですね。仕事から帰ったら教育番組の録画がテレビで流れていて、ご飯食べて、寝かしつけて、一緒に寝ちゃって、朝を迎える、という生活です（笑）

社会人になるということ。 東洋電装の新入社員入社前研修

4月1日入社の新入社員6名向けの入社前研修が宮島にて行われました。
頭を使ったり、体を動かして楽しんだり、盛りだくさんな1泊2日の様子をご紹介します。

研修の目的

- ・ 学生気分から社会人へ自覚の構築
- ・ 同期の仲間との精神的な環境づくり
- ・ モノづくりの楽しさ、自社愛を深めると同時にリアルを伝えることで、TDマンとしての心構えと自覚のスイッチを入れる



オリエンテーション

研修の目的を確認して、キリリと引き締まった表情の新入社員たち。他己紹介で参加メンバーの顔と名前を把握したら、研修スタートです。

レクリエーション 逃走中 ~TDver.~

宮島島内に放たれたTDマスクマン (TD社員) や、指定の風景を探し出し、獲得ポイントの合計を競うゲームで、メンバーの連帯感を養います。TDマスクマンの検索はLPWA位置監視システムを活用し、自社製品への理解も深まります。



ブレインストーミング

モノづくり企画の体験として、レクリエーションで使ったLPWAの多様な活用方法についてブレインストーミングでアイデア出し。出たアイデアをまとめてチームごとに発表します。



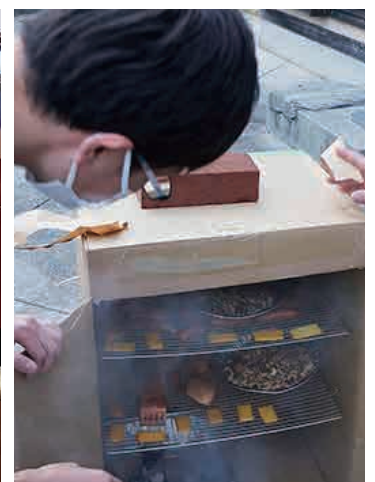
夕食作り

新入社員だけで、参加メンバー全員分の「カレーライス」「お好み焼き」「燻製」を作ります。作り方を調べたり相談したり試行錯誤しながら作った料理は特別な味がしますね。



キャンプファイヤー

砂浜でキャンプファイヤー。炎の揺らぎを見つめながら、先輩社員の失敗エピソードや壁の乗り越え方などのリアルな体験談を聞き、自分の将来に思いを馳せます。





モノづくり体験

宮島の特産品である「しゃもじ」に自分の想いを込めた漢字一文字を書きます。初心に帰るための決意の一品です。続いて宮島が発祥の地でもある名物もみじ饅頭の手焼き体験。モノづくりの苦勞と喜びを体験しながら小腹を満たします。



バーベキュー

お昼ご飯は段取りが命のBBQ。先輩の手際の良さを見習いながら、最後の交流会を。

研修を終えて・社長からの言葉

2日間の研修最後のイベントです。みんなの前で「自分取説」「人生設計表」「入社に向けての決意」を発表。決意を言葉にすることで、新入社員の顔がまた一段と引き締まったように見えました。



新入社員の思い出

思い出の写真1枚と感想をもらいました!

高田さん

研修を通して社会人になるという自覚を持つことができました。印象に残ったのは先輩社員の失敗談や仕事に対する姿勢を聞いたことです。話を聞いていく中で「0からのスタート」や「素直であること」など自身が社会人になるにおいて不安だったことが解消され前向きになることができました。



中村さん

今回の研修で沢山の経験をさせていただいて沢山のことを学びました。その中で私が感じたことは仕事に対する思いの大切さです。みなさんの話を聞いているなかで、それぞれにやりたいことがあり、なりたい自分を描きながら仕事と向き合っていると伝わってきました。そして、自分の成長や上質な仕事に繋げていくためには向上心や明確な目標が大切だと感じました。4月からは仕事に対する意識を高く持ち頑張ります。

安原さん

入社前研修を通して社会人になる心の準備ができました。プレストの体験では会社に入り新製品を作ることを想像するとワクワクしました。キャンプファイヤーやしゃもじ体験を通して自分のなりたい姿や目標を明確にできたためそれに向かって努力をしていきたいと思えます。



中村さん

研修では逃走中、グループワーク、料理、体験等様々な事をさせて頂きました。その中でコミュニケーションや気遣いを始めた人として、社会人として必要な事を楽しく真剣に教えて頂きました。今まで不透明だった社会人になるという事の具体的な決意が出来ました。また、東洋電装のネットワーク技術を使った企画を通して実際にこんな風に使われるんだという事がよく分かり、他にどんな事が出来るんだろうと考えながらワクワクしました。この貴重な2日間の経験を元に1日でも早く戦力になる様、明るく頑張ります!



太田さん

宮島で有名なしゃもじにそれぞれが文字を書きました。選んだ文字は勿論、筆遣いや勢い、同じものは一つもなくてたった1文字ですがその人の人柄を表しているように感じました。このしゃもじの様に私達6人が支え合っていければと思います。



木原さん

この写真はキャンプファイヤーをしている時です。この火を見ながら先輩たちの話を聞かせていただきました。先輩たちの話を聞いてこれからどのようにしていかないといけないかあらためて知ることができました。このことを踏まえて4月から一生懸命頑張っていこうと思います。



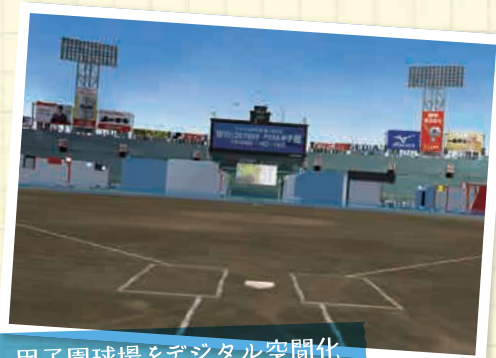
展示会レポート

ウィズコロナ展示会 in デジタル甲子園

3月10日(水)~12日(金)



ブースの全体像はこちら！



甲子園球場をデジタル空間化

バーチャル展示会でリモート商談

3月10日(水)~12日(金)に開催された「With コロナ展示会 in デジタル甲子園」に旭光通信システム様と共同で出展しました。この展示会は、デジタル空間に再現された阪神甲子園球場に出展者・来場者がアバターで参加し、各企業のブースで展示されている商材についてボイスチャットやテキストチャットで商談を行う、新しい生活様式に対応したビジネスイベントです。東洋電装は、検温機能付き受付管理システム「まもチェック」や「デジタル出退表示システム」など、コロナ禍で活躍するIoTシステムを紹介させていただきました。

広報
おだちゃんの

バロ電機 訪問記

VALO DENKI HOUMON-KI



「働き方改革、始まります！」

バロ電機でも働き方改革の取り組みがスタートしました！
まずは講師の先生を招いての出張講座です。



第一回 2月5日

まず、「働き方改革」とは何かの理解を深めた上で、「自社の課題」について考えました。
プレストで意見を出し合いながら、トライアル検討をし、実行フェーズへ。

第二回 3月19日

第二回では「働き方改革」の次のステップについての理解を。

そして、前回より実行していたトライアル検討の振り返りを行いました。

そこでトライアルが滞っている壁（課題）を発見。
具体的な行動レベルで実行可能な策をみんなで模索しました。



TDニュース

掲載情報

明治安田生命法人様向け情報誌『MY 健康経営』の、「アイデアが生んだ新機軸」という、アイデアによって新しく生まれた健康関連商品や市場を紹介するページに、弊社の在宅向け睡眠見守りシステム「まもる〜のHOME」のインタビュー記事を掲載いただきました。「まもる〜のHOME」の開発経緯や苦労した点、今後の展望が分かる記事となっております。



Good & New

東洋電装社員の、GoodなことやNewなことをご紹介します。

東洋電装 志村さん

毎月、先生からお稽古をつけてもらっています。
 4年程前から沖縄の三線をやっているのですが、なかなか上達しません。
 新人賞は2年前に合格して、昨年は優秀賞の予定だったのですが、コロナ禍でコンクール出場ができなくなってしまいました。今年こそはと思い、週末は着付けて、先生へ課題曲の動画を送って、練習に励んでいます(笑)
 私の師匠は「上間綾乃」沖縄でも有名な唄者です。興味のある方がグブってみて下さい。
 2枚目の写真は私の三線の製作者、伝統工芸士の銘苅春政先生です。



東洋電装 高橋さん

先日、『シン・エヴァ』を観てきました。
 中学3年のころに受験勉強をサボって『Q』を観に行ったのが8年前かと思うと、一瞬であり長大だったような。観終わったあとは「終わってしまったんだなあ」とか、「自分も何か作りたい」とか、そんな気持ちに支配されて目を回しながら帰宅したことを臆気に覚えています。
 その後『プロフェッショナル 仕事の流儀』庵野さん回を観て、モノを作るって苦しくて楽しくって、やっぱり好きだなあと…何かに火を付けられた気がしました。
 パンフレットの写真だけ、というのも寂しいので、好きなキャラクターの『アスカと二号機』を描きました。



「地頭（じあたま）がいい」って、どういうこと？

「あの人は地頭がいい」「地頭がいい人を採用したい」などといった会話を、一度は聞いたことがありませんか。なんだか先天的な能力にも思えますが、実は違うようです。「地頭がいい」とはどういう意味で、どういった能力を指すのか。また、今からでも遅くない！地頭力を鍛える方法をご紹介します。

地頭とは

教育によって授けられた知識ではなく、その人が本来持っている頭の良さを意味します。いわゆる学歴や勉強が得意といった類の知識力ではなく、「論理的な思考ができる」「コミュニケーション能力が優れている」「頭の回転が速い」「柔軟な発想ができる」といった、自分の頭で考える力や、問題を解決していく力のことを言います。

なぜ、いま「地頭が良い人」が求められるの？

現代社会では、わからないことがあれば大抵のことは、インターネットで調べて答えを見つけ出すことができます。これがインターネットがもたらした「知の革命」です。

つまり、人間の頭からITが置き換えることで「知識や情報量」の差は、ほとんどなくなってきています。そこで「自分なりにどこまで加工して付加価値をつけられるか？」考えることのできる「地頭力」が必要となってくるのです。

地頭を鍛える3つの方法

【本を読む】

実は、日々Webから取り入れている情報を読むだけでは、脳は「瞬間的」にしか考えることをしていません。読書をすることで思考を「継続的に続ける」ことができます。

【Why型の好奇心を持つ】

「What型（何だろう）思考」では答えを見つけると思考がストップしてしまうため、「Why型（なぜだろう）思考」で与えられた答えを疑い続けてみましょう。例）物事の「なぜそうなったんだろう」を問い続けてみる

【ディベート思考にチャレンジ】

ディベート思考法とは、ある問題を与えられたとき、肯定・否定の両方から考えてみる方法です。あえて反対意見を考える癖をつけたり、自分の考えと異なる本を読むなどして、多面的な視野を得ることで、説得力のある客観的で論理的な意見を構築することができるようになります。

最後に

「これからは人間にしかできないことが重要視されていく」

2030年までにAIやロボットによって、約50%以上の仕事がなくなると言われています。

しかし、意思決定することや、新しいものを創り出す力、能動的に動くための好奇心は、AIには持ってません。

今後、こういった人間にしかできない部分の価値が高まっていくと言われており、そこに必要な能力の一つと言われているのが「地頭力」というわけです。

ぜひ、これを機にみなさんも「地頭力」を鍛えてはいかがでしょうか。



おたより



募集中

【応募方法】

●氏名●掲載用ペンネーム●住所●電話番号●投稿内容

を記入して社員へ手渡し、またはEメール、郵便、FAXにてお送りください。

※掲載にあたり、文章に手を加えさせていただく場合がございます。

※二重投稿はご遠慮ください。

※掲載された方には薄謝をお送りしますので、住所・氏名・電話番号は正確にお書きください。

※ご記入いただいたあなたの個人情報は、この企画の目的以外には使用いたしません。

【Eメール】

info-hp@t-denso.com

【郵便】

〒731-0103

広島市安佐南区緑井4丁目22-25 広報担当

【FAX】

082-831-2588